

熊本で独自工法による受注増目指す

阿比野建設

管家 修一 取締役九州支店長



大阪府出身、1981年12月6日生まれ、42歳。福岡工業大学情報工学部卒。2004年入社。23年取締役大分事業所長、24年6月取締役九州支店長兼熊本事業所長

熊本市東区長嶺南1丁目に6月6日、熊本事業所を開設した総合建設業の阿比野建設(株)(兵庫県姫路市)。九州内の営業拠点は、大分事業所のみだったが、TSMC進出関連の建設需要の取り込みを含めた業容拡大を目的に熊本にも設けた。同日付で開設した九州内の事業を統括する九州支店(大分市萩原4丁目)の支店長と熊本事業所長を兼務する管家取締役は「熊本で主力商品であるNSスーパーフレーム工法による施工実績を増やし

ていく」と力強く語る。

同工法は鉄鋼メーカー国内最大手の日本製鉄(株)が開発した薄板軽量形鋼造(スチールハウス)による建築工法の一つ。工場で生産した屋根パネル、床パネル、壁パネルを施工現場で箱のように組み立てる短工期の乾式工法だ。コスト面や遮音・温熱・耐久性などに優れている点が特徴で、東日本大震災後に建設された復興住宅にも採用された。管家取締役は「県内で当工法による事務所や住宅、寮などの受注を増やしていきたい」と話す。

元社会人野球の投手で、新日本製鐵広畑では入社1年目からチームのエースとして活躍した。野球でも培った自身のバイタリティーを生かし同工法の営業展開で県内各地を奔走する中、「初年度は熊本で1棟を受注し、完成した建物は施主さまやその関係者の方々に見学いただき、独自工法の特徴を体感してほしい。顧客満足度を第一に考え、お客さまに利益を提供できる企業づくりを目指す」と意気込んだ。